

令和六年度 学校推薦型選抜 小論文 試験問題  
募集区分 技術領域専攻

( 八枚の一 )

□ 次の文章を読んで以下の問いに答えよ。

軽くて丈夫、さまざまな形に加工することができて値段も安いことから、1950年代以降、急速に普及したプラスチック。便利な素材である一方、気候変動や海洋汚染などの世界的な環境問題にもつながっています。2019年のG20大阪サミットを経て、2022年3月の国連環境総会では、海洋プラスチック汚染をはじめとするプラスチック汚染対策について、法的拘束力のある文書(条約)の作成に向けた決議が採択されています。

日本でも、2022年4月から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」(以下、プラスチック資源循環法)が施行されました。プラスチックごみを削減し、リサイクルを進めなければならないのは、プラスチックを製造、提供している企業だけではありません。消費者一人ひとりも、毎日の生活の中で、選択や行動、ライフスタイルを変えていくことが求められます。

プラスチック資源循環法とは？

プラスチック資源循環法は、必ずしも必要としないプラスチックの使用はリデュース・リユースにより減らし、生活に欠かせないプラスチックについては、持続可能が高まることを前提に再生素材や再生可能な資源に切り替えるリニューアブルをすすめ、徹底したりサイクルを実施することを、事業者・自治体・消費者が一体となって取り組むための法律です。

(中略)

どのようなプラスチック製品を選ぶか、どのように使い捨てプラスチックを減らせるか、またはどのように回収・リサイクルに協力するのかなど、プラスチックとの上手なつきあいを考え、資源の循環を進めていきましょう。

「プラスチックとどうつきあう？」(環境省 ecojin) (一部改変) (閲覧日2023年8月8日) <https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20220406.html>

問一 本文中で記載されているプラスチックの良い点と悪い点を百字以内で述べよ。

問二 プラスチックのリデュース・リユースで、あなたが日頃から心掛けている行動を、それぞれ百字以内で述べよ。

問三 プラスチックのリデュース・リユース・リニューアブル・リサイクルのうち、最も優先すべきものはどれか、あなたの考えを二百字以内で述べよ。